

9. 歯周病初期治療 臼歯部のハンドスケーリングと歯面研磨・PMTTC



9. 歯周病初期治療 臼歯部のハンドスケーリングと歯面研磨・PMTC

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うこと（スケーリング・PMTC）の説明ができる
- ・ 患者に前回行ったスケーリング後の歯肉の変化について説明できる
- ・ 必要な器材の準備ができる
- ・ 手用スケーラーを正しく扱える
- ・ 歯面研磨を適切に行える
- ・ 歯垢染色剤で適切に歯垢を染められる（唇や口腔外に染色剤がつかないように注意）
- ・ 清掃の行き届いていない箇所を患者に説明できる
- ・ 歯間空隙、歯頸部、咬合面の研磨清掃が適切に行える
- ・ フッ化物入り歯面研磨剤の効用と術後の注意点を患者に説明できる
- ・ 患者に術後説明ができる
- ・ 器具の後片付けができる

<設定場面>

患者は初期の歯周病で来院し、初期治療としてスケーリングと PMTC をすることとなった。前回前歯部のスケーリングを行い、今回は前歯部のスケーリング効果を確認するとともに、臼歯部のハンドスケーリング予定である。

<診療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：衛生士に患者の誘導と治療内容の説明、前歯部歯肉の評価と説明を行うよう指示する。

助手：患者をチェアに誘導し、本日の処置内容を説明する。

衛生士：前回の診療で行った前歯部スケーリングの効果を確認する（前歯部歯肉の状態について、口腔内観察・評価を行う）。

前歯部歯肉の状態について患者に説明する。

患者：前歯部スケーリング後の変化について質問する。

衛生士：前歯部スケーリング後の変化について説明する。

2. 器材の準備 必要器材：エックス線フィルム、歯周病診査記録、ハンドスケーラー、ガーゼ

歯科医師：助手に必要な器材を用意するよう指示する。

助手：必要器材を準備する。

3. 歯肉縁上の除石

歯科医師：衛生士にハンドスケーラーで歯肉縁上の除石を行うよう指示する。

衛生士：ハンドスケーラーで歯肉縁上歯石を除去する。

4. 歯肉縁下の除石と歯根面の滑沢化(ルートプレーニング)

歯科医師：衛生士にハンドスケーラーで歯肉縁下の除石と歯根面の滑沢化を行うように指示する。

衛生士：キュレットの刃部を底に向けて挿入し、ローシャンクが歯面に平行になるように

あてて、そのまま歯冠側に向かって引き上げる。

これによって縁下歯石と壊死セメント質の除去を行う。

刃部に付着した付着物はガーゼなどで拭う。

なるべく器具の取替えをしないで作業の順序を考えておくとよい（同じキュレットで数歯の近心面を続けて行い、刃部の形態を考えて持ち替え、遠心面を行う）

ハンドスケーラーが入らない隣接面はフレキシブルスケーラーなどで除石と研磨を行う。

探針でポケット内を探り、取り残しがないか確認する。また、スリーウェイシリンジでポケット内を洗浄・乾燥して確認する。

5. 歯冠空隙、歯頸部、咬合面の研磨清掃 必要器材：PMTC用コントラ、コントラ用チップ、フッ化物入り歯面研磨剤、ポリッシングブラシ、ラバーカップ

歯科医師：衛生士に歯面研磨を行うよう指示する。

衛生士：歯面に研磨剤をつけ、ブラシ・カップを順に使い研磨を行う。

9. 臼歯部ハンドスケーリングと歯面研磨・PMTC

必要器材

- ①エックス線フィルム
- ②歯周病診査記録
- ③ハンドスケーラー
- ④ガーゼ
- ⑤PMTC用コントラ
- ⑥コントラ用チップ
- ⑦フッ化物入り歯面研磨剤
- ⑧ポリッシングブラシ
- ⑨ラバーカップ
- ⑩ポケット洗浄用シリンジ
- ⑪ヨードグリセリン
- ⑫初診時のカラーズライド
- ⑬手鏡

